

日曹 **テルスター** ジェット

ビフェントリンくん煙剤

®は米国FMCの登録商標です。 **FMC**



いちご



ぶどう



なす



きゅうり

くん煙 殺虫殺ダニ剤



メロン



花き類



すいか

- 殺虫殺ダニ剤ビフェントリン (合成ピレスロイド系) を有効成分とするくん煙剤です。
- くん煙剤なのでハウス内の湿度を高めず、作物の汚れも少なく省力防除ができます。
- ハダニ類*、アブラムシ類、ハスモンヨトウに高い効果を示します。
- 速効性に優れ、くん煙直後から強い殺虫力を示します。
- 登録の果菜類作物では収穫前日まで使用できます。
- ミツバチは、くん煙3日目の夕刻以降ハウスへ再導入できます。

(*ハダニは各種薬剤に抵抗性を獲得していますので、本剤に対しても低感受性のハダニ系統が存在する場合があります。)



日本曹達株式会社

くん煙殺虫殺ダニ剤



有効成分：ビフェントリン … 5.0%

殺虫剤分類 **3A**

性 状：類白色発煙性円柱状

人畜毒性：医薬用外劇物

包 装：(20g×10缶)×6箱
(48g×10缶)×6箱

適用害虫と使用方法 (抜粋)

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*		使用方法
					本剤	ビフェントリン	
ぶどう	温室、ビニールハウス等 密閉できる場所	ハダニ類	くん煙処理室の容積 400m ³ (床面積 200m ² ×高さ2m) 当り48g	収穫前日まで	1回	2回 (散布は1回、くん煙は1回)	くん煙
いちご					2回	2回	
きゅうり		ハスモンヨトウ			3回	3回	
なす		ハダニ類			4回	4回	
すいか		アブラムシ類			3回	3回	
メロン	ハダニ類	ハダニ類	発生初期	3回	3回	3回	くん煙
花き類・観葉植物							

※葉たご倉庫・小麦貯穀倉庫にも登録

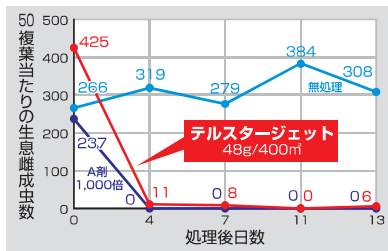
*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびビフェントリンを含む農業の総使用回数の制限を示す。

使用薬量の決め方 (48g缶の場合)

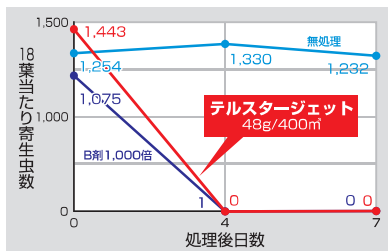
ハウスの面積	200m ² (61坪)	400m ² (122坪)	600m ² (182坪)	800m ² (243坪)	1,000m ² (303坪)
平均高さ2mとして 使用量 (48g缶)	1 缶	2 缶	3 缶	4 缶	5 缶

試験成績抜粋

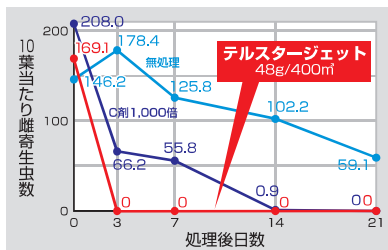
いちご／ハダニ類効果 (平成21年)



メロン／アブラムシ類効果 (平成21年)



ぶどう／ハダニ類効果 (平成22年)



使用 方 法

くん煙の手順

- ①ハウスの密閉
くん煙を始める前に防除する室の戸や窓を閉め、密閉する。
- ②薬剤の配置
室の容積によって使用量を決め、煙が均一に拡散するよう薬剤を配置する。その際、周辺の可燃物を取り除いておく。なお、植物体・可燃物から離れた中央の安全な場所に設置する。特にビニールなどの被覆材とは60cm以上離れた位置で使用する。
- ③点火・退室
点火は以下の通りを行う。
①点火方法は缶のフタをとり、赤色の突起部に添付のスリ板またはマッチで点火する。
②点火後はくん煙終了時までくん煙処理室に入らない。
- ④くん煙
くん煙は、夕方から始め、翌朝までとする。
くん煙中は、絶対にハウス内へ入らない。
- ⑤ハウスの開放
翌朝、ハウス内の温度が上がる前に開放し、十分に換気した後に入室する。(特に、ハウス内が乾燥している時は煙が翌朝まで残る場合があるので、十分に注意する。)

缶型の点火例



効果・薬害等の注意事項 (抜粋)

- くん煙処理しようとする室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数箇所に分けて配置し、煙が満遍なく行きわたるようにしてください。
- くん煙に当たっては、室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を取り除いた床上で、本剤をバケツ(金属)等の中に置き点火してください。点火後、発煙を確認したら速やかに退出し、室を密閉して、そのまま放置してください。
- 定植直後または幼苗、軟弱徒長苗には使用しないでください。(薬害)
- 高温時のくん煙は薬害を生じるおそれがあるので、日中のくん煙はさけ、夕方からくん煙し、翌朝開放してください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、くん煙する施設に桑園が隣接する等、桑に付着するおそれがある場所では使用をさけてください。
- くん煙処理後の室内で作業した際に着用した衣服は、養蚕作業に用いるものと区別してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①受粉促進を目的としてミツバチなどを放飼中の施設などでは使用をさけてください。
 - ②くん煙する施設内や周辺に巣箱がある場合は、巣箱を移動するなど直接ミツバチの巣箱に煙が暴露しないようにしてください。
 - ③移動した巣箱は、少なくとも処理後3日間は室内に戻さないでください。
- 室内に小鳥などを置いている場合は、くん煙前に他の場所に移動しておいてください。
- 空袋、空缶は、圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 使用に当たっては、使用量・使用時期・使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意事項 (抜粋)

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験で筋弛緩薬(メトカルバモール製剤等)の投与が有効であると報告されています。
- 点火等の作業の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 魚毒性：水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、施設内に水産動植物を飼っている水槽などを置かないでください。
- 保管：密封し、火気や直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。カギをかけてください。

● 本剤を使用するときは ●

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2022年10月現在の登録内容に基づいています。



最新の登録内容



使用方法(動画)